

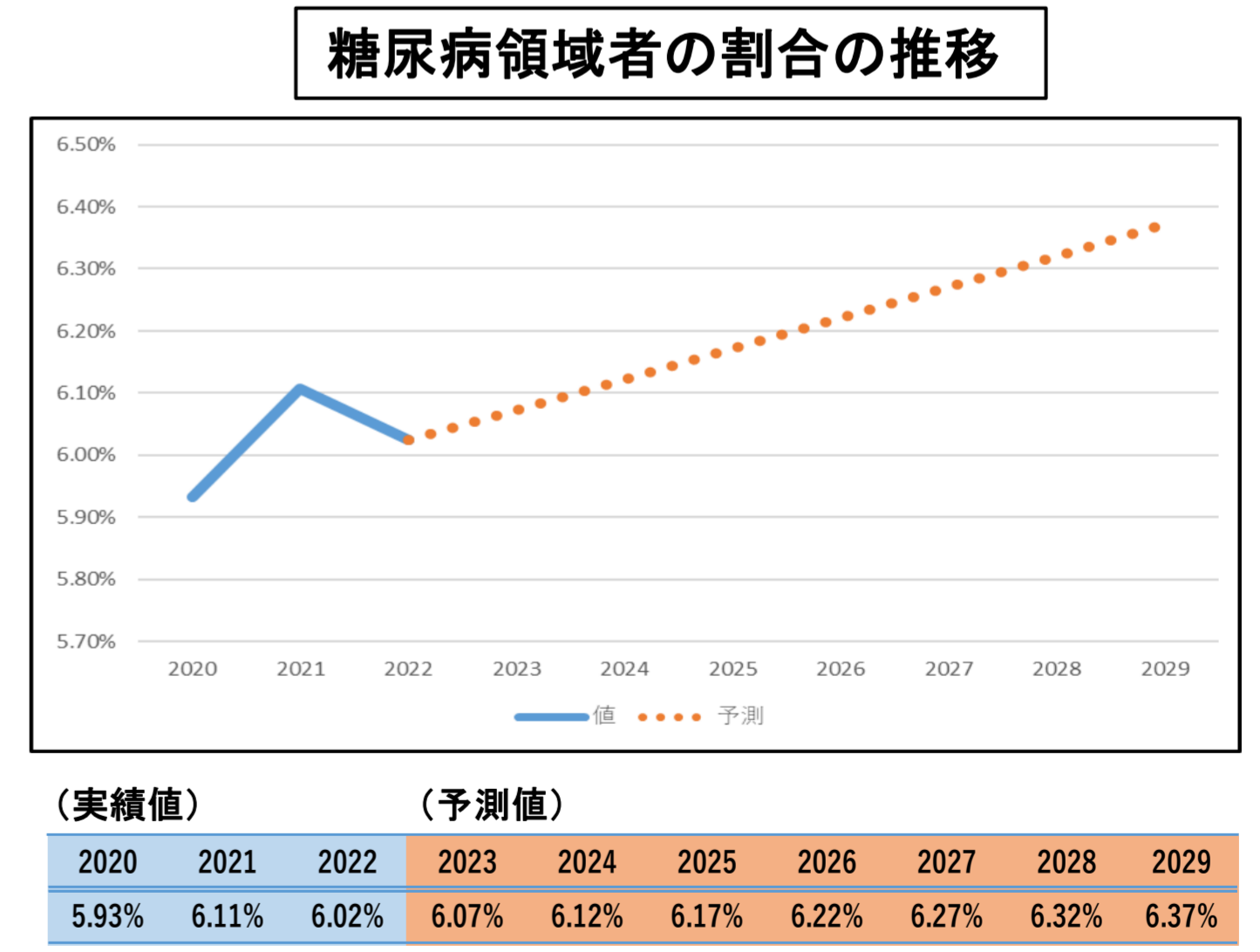
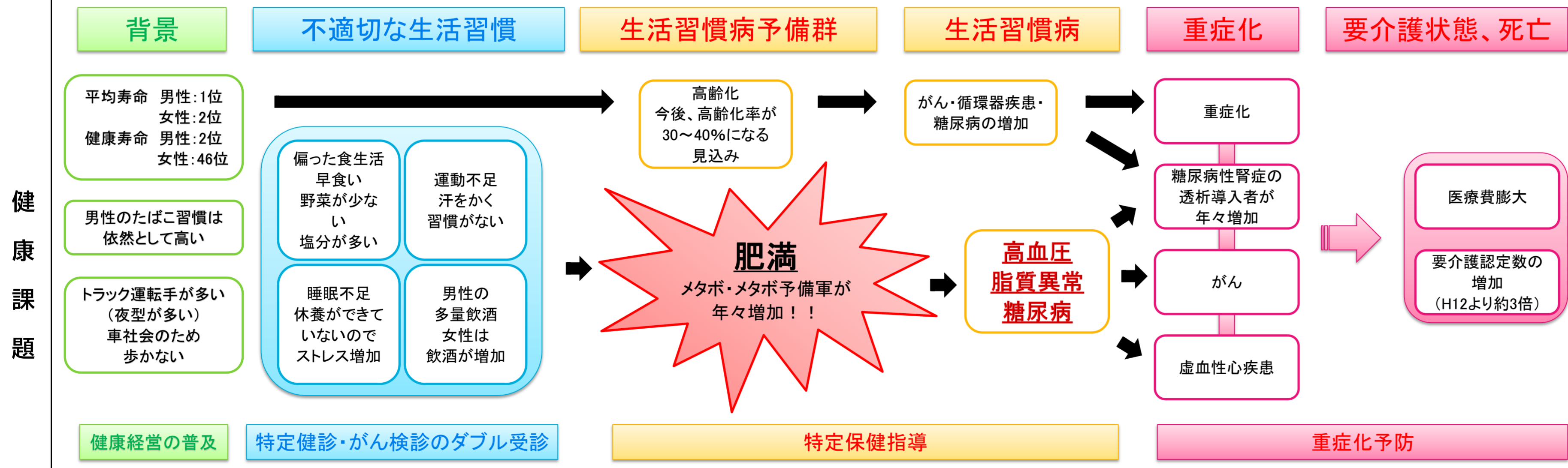
6年後に達成する目標
(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標)

糖尿病領域者（空腹時血糖値126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上）の割合について、6年後に予想される伸びを抑え、6.37%以下にする

健康課題の抽出

● 情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

	背景、不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化、要介護状態、死亡
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■加入事業所数：21,811事業所（令和4年度）で増加傾向である。 ■被保険者数：208,406人（令和4年度）で減少傾向である。 ■被扶養者数：136,167人（令和4年度）で減少傾向である。 ■健康宣言事業所数：960事業所（令和4年度）で増加傾向である。 ■平均寿命：男性82.73年（全国1位）、女性88.26年（全国2位）令和2年 ■健康寿命：男性73.46年（全国4位）、女性74.44年（全国46位）令和元年 ■喫煙習慣：男性38.0%（全国11位）、女性11.5%（全国4位）令和4年度 ■運動習慣要改善者：男性67.7%（全国30位）、女性76.8%（全国38位）令和4年度 ■食事習慣要改善者：男性57.4%（全国35位）、女性47.1%（全国18位）令和4年度 ■飲酒習慣要改善者：男性17.3%（全国19位）、女性4.3%（全国13位）令和4年度 ■体重10kg以上増加者の割合：男性51.6%（全国37位）、女性30.2%（全国15位）令和4年度 ■睡眠で休養が取れていない者の割合：男性38.6%（全国40位）、女性44.5%（全国42位）令和4年度 ■特定健康診査実施率（被保険者）：81.9%（全国5位）令和4年度 ■特定健康診査実施率（被扶養者）：39.6%（全国3位）令和4年度 	<ul style="list-style-type: none"> ■特定保健指導実施率（被保険者）：19.1%（全国27位）令和4年度 ■特定保健指導実施率（被扶養者）：25.7%（全国10位）令和4年度 ■メタボリックシンドロームのリスク保有率：14.4% 令和3年度 ■メタボリックリスク予備軍の割合：12.3% 令和3年度 ■腹囲のリスク保有率：33.3% 令和3年度 ■血圧のリスク保有率：42.6% 令和3年度 ■脂質のリスク保有率：29.4% 令和3年度 ■代謝のリスク保有率：12.2% 令和3年度 ■BMIのリスク保有率：28.5% 令和3年度 ■中性脂肪のリスク保有率：19.7% 令和3年度 ■HDLコレステロールのリスク保有率：4.9% 令和3年度 ■糖尿病の有病者及び予備軍の割合は、男性22.6%、女性14.0%であり、年齢とともに増加している。経年的には、男性に増加がみられる。また、降血糖薬を服用している者の経年推移を見ても、男女ともに増加傾向である（令和3年滋賀県健診データ分析） 	<ul style="list-style-type: none"> ■入院1人当たり医療費：50,331円 令和3年度 ■入院外1人当たり医療費（調剤含む）：108,187円 令和3年度 ■【糖尿病】入院外1人当たり医療費（調剤含む）：6,682円 令和3年度 ■【高血圧症】入院外1人当たり医療費（調剤含む）8,784円 令和3年度 ■【高脂血症】入院外1人当たり医療費（調剤含む）3,093円 令和3年度 ■【心疾患】入院外1人当たり医療費（調剤含む）1,152円 令和3年度 ■【脳血管疾患】入院外1人当たり医療費（調剤含む）735円 令和3年度 ■【悪性新生物】入院外1人当たり医療費（調剤含む）10,518円 令和3年度 ■新規透析導入患者数：437人 令和3年度 ■導入原疾患は糖尿病性腎症が165人（37.3%）で最も多い（日本透析医学会、滋賀腎・透析研究会調査） 	<ul style="list-style-type: none"> ■要介護認定者の総数（第1号被保険者+第2号被保険者）：67,791人（令和3年度）平成12年度の制度創設時と比較して約2.9倍に増加している。（介護保険事業状況報告） ■男性の死因別死亡数の割合：第1位がん（30.5%）、第2位心疾患（14.5%）、第3位脳疾患（6.1%）（滋賀県の死因統計解析） ■女性の死因別死亡数の割合：第1位がん（21.6%）、第2位心疾患（16.2%）、第3位老衰（16.2%）（滋賀県の死因統計解析） ■全死因の年齢調整死亡率（人口10万対）：男女とも心疾患が1番高い（滋賀県の死因統計解析） ■全死因の標準化死亡率（SMR）男性：第1位急性心筋梗塞、第2位誤嚥性肺炎 ■全死因の標準化死亡率（SMR）女性：第1位急性心筋梗塞、第2位糖尿病（滋賀県の死因統計解析）



□糖尿病領域者（空腹時血糖値126mg/dl以上、HbA1c6.5%以上）の割合が、5.93%（令和2年度）→6.11%（令和3年度）→6.02%（令和4年度）であり、増加傾向である。今後加入者の平均年齢も上昇することが予想され、糖尿病領域者の割合も上昇が見込まれる。

□糖尿病腎症による新規透析患者数が、18名（令和2年度）→24名（令和3年度）→29名（令和4年度）であり、増加傾向である。

※2020年から2022年までの伸び率の平均の推移から、2029年末に見込まれる予想値は6.37%

対策を進めるべき重大な疾患
(10年以上経過後に達するゴール)

糖尿病性腎症による新規透析患者数を令和4年度（29名）より減少させる